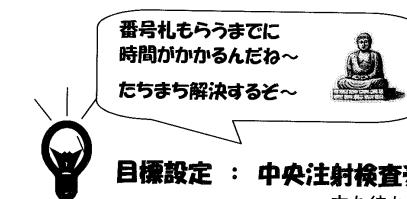
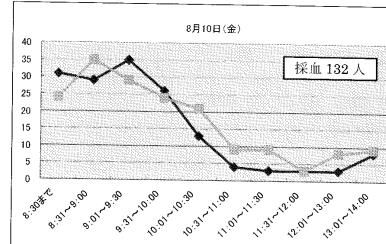
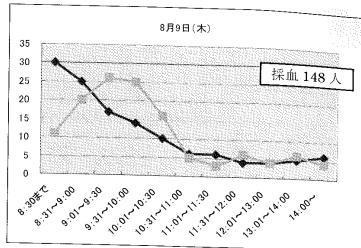
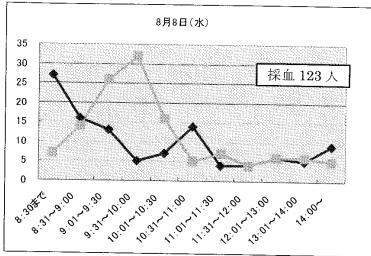


作成日 平成 25 年 1 月 31 日

市立三次中央病院 第 3 回 CS 向上推進活動

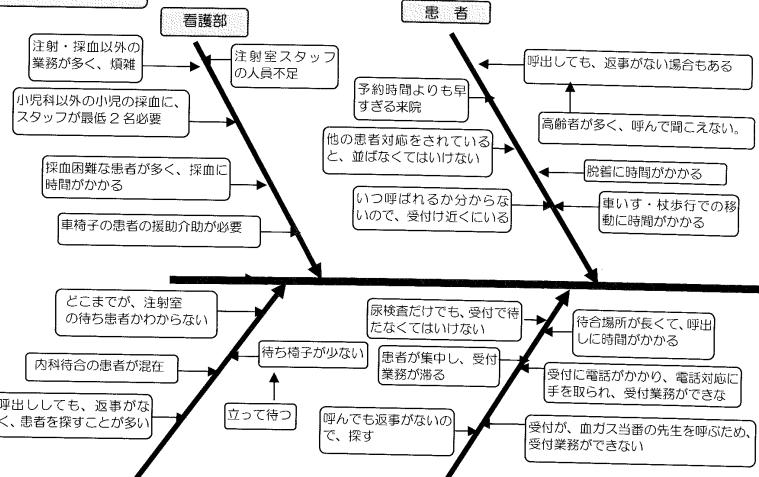
サークル活動完了報告書

サークル名	進め 安心の輪! 和!!! PartIV	発表者	熊沢 鈴子
部署	外来看護・検査科	リーダー	正廣 ひとみ
活動期間	開始: 平成 24 年 6 月 30 日 終了: 平成 25 年 1 月 23 日	サブリーダー	世羅 節子・熊沢 鈴子
会合状況	会合回数 7 回 1 回あたりの会合時間 30 分	メンバー	立野 美佐枝・田中 加代子 福田 操・本田 和子 宮本 陽子
所属長/推進メンバー	熊沢 鈴子	所見欄	
レビュー担当者	(株)麻生 向野 早苗		
テーマ	外来中央注射室付近の混雑を回避し、さらなる安心・安全な採血室をめざします		
テーマ選定理由	新病院開院以来、中央注射室前廊下を待ち合い場所としていましたが、立ち待ち患者が多く、受付やトイレ付近が混雑し、車いすやベッドの通行が困難になっていました。また、患者様からも注射室受付付近の混雑に関するご意見をいただきました。今回、朝の混雑時の業務見直しや、患者様の流れを見直し、安心で安全な中央注射室をめざします。		
現状把握	調査期間 : 8 月 6 日(月)～10 日(金)		
①中央注射室受付へ来られた時間(基本スケジュールが出力された時間)と人数			
②看護師の採血以外の業務内容把握と人数を把握した			
③採血までの待ち時間を、基本スケジュール出力時間から採血室受付終了までと、採血室受付後採血までの時間に分け調査した (■: 基本スケジュール出力時間から採血室受付終了 ◆: 採血室受付後採血までの時間)			



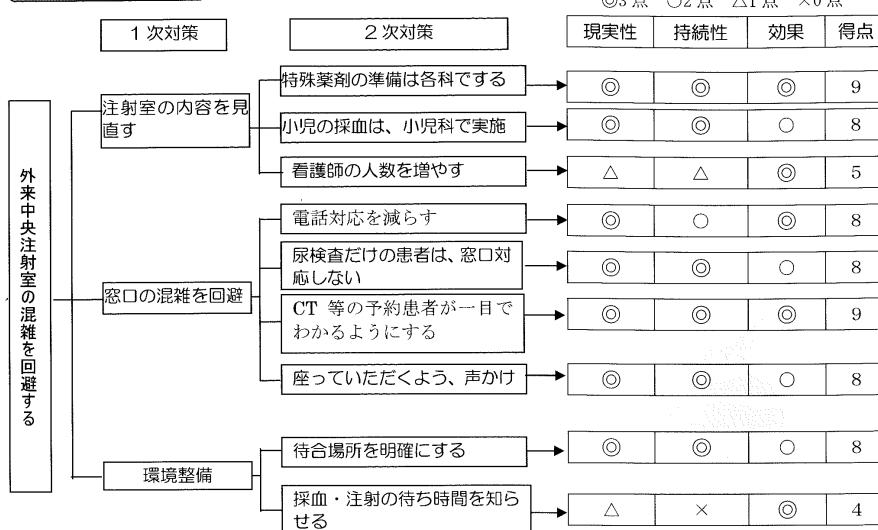
目標設定：中央注射検査受付付近の混雑を回避(立ち待ち患者ゼロ！！) 立ち待ち患者 10～15 人を 0 人にする

要因解析



中央注射室の受付の混雑を回避

対策立案



対策実施

何を	いつ	誰が	どこで	どうする
特殊薬剤の準備は各科でする	毎日	各科看護師	各科	特殊薬剤を準備して、事前に注射室へ届ける
小児科以外の小児採血	採血がある時	看護師	小児科	小児科で採血し、検査科へ届ける
窓口の電話対応を減らす	血ガス採血	採血担当者	採血終了時	今日の血ガス担当医を呼ぶ
	各科	看護師	随時	受付関係以外の電話をしない
CT等の患者を解りやすくする	基スケを渡す時	看護師・助手	各科	目印になるような物を、基スケに入れる
尿検査のみの患者	前日	検査科	検査科内	尿検査のみの患者を調べ、前日尿コップを準備。当日、各科が採尿コップを患者へ渡すことにより、採血室受付へ行かない
待合場所	すぐ	看護・検査・医事	内科前	内科前のフロアへ待合場所に変更
立ち待ち患者	随時	気がついた人	受付付近	座って待っていただくよう、声を掛ける

効果確認

・中央注射受付付近での立ち待ち患者は、ほぼゼロになった

まとめと今後の課題

- ・今回のCS活動で、18年続いた中央注射室前ロードの待合場所を内科前に設置することにより、廊下は廊下としての機能を果たし、採血室待合は、待合としての機能を発揮している。
- ・各科も協力して、注射室職員の業務見直しをし、中央注射室付近の混雑は回避できた。
- ・尿検査だけの産婦人科の患者は、混雑した受付を通らないため、早く検査結果がでて、感染からも身を守れるため好評であった。
- ・待ち時間の解消には至らなかったが、今後は職員の配置や運用面、システム面等について、他部署も含め検討する必要があると思われる。